

ゴルフ場
に
ハナビ
がやっ
て
きた

PHOTO/Hiroyuki Okazawa

栃木県5月27日(土)
鹿沼72CCの夕方……

もうすぐ夏がやってくる。夏といえば夜空を彩る花火大会だが、一足早くゴルフ場を舞台に盛大な花火が打ち上がった。鹿沼市にある鹿沼72CCで行われた花火大会を取材してきた

最終組がホールアウトしたあと、筑波コースの1番と9番に何やらセットが組まれていた。実はこれが花火を打ち上げる装置。まだ日が残る夕暮れ時に、花火師や消防士、コーススタッフが入念な打ち合わせを行っていた



ヤマランド番外編
ハナビラント ● ニッポン

ゴルフ場に
ハナビ

がやっ

てきた

TEXT/Mika Kawano

「たーまやー」の歓声 夜空に響いた



恒例行事 鹿沼72CCで開催

栃木県最大規模を誇る鹿沼72カントリークラブ。個性豊かな45ホールを有し関東の沃野よくやを一望するコースで、5月末ビッグイベントが開催された。極彩色の花火が鹿沼の夜空を鮮やかに彩ったのだ。

コロナ禍で花火大会が中止になり活躍の場を失った花火師さんに敷地の広い鹿沼72なら花火大会ができるのでは？ とコース側が打診。「ぜひやってみよう」との返答を受け開催にこぎつけた。当初はコース単独の小規模なものだったが好評を博し2年前から市が開催する「さつき祭り」の協賛イベン



366ヤードのパー4、筑波コース1番のグリーン奥からの写真。コースを花火の光が照らす、幻想的な光景が広がった



鹿沼72CC(栃木)

45H・16503Y・P180

都内から車で約90分。広大な土地に45ホールを備える。写真は筑波コース1番。このホールと右隣の筑波コース9番に特設の花火台が造られた

トに。
大会を指揮した花火師の安藤健士さんは「ゴルフ場で花火を上げる機会なんて滅多にありません。我々にとっては挑戦。楽しませてもらいました」。
見どころは「さつき祭り」の他会場では打ち上げられない一尺玉。開花すると直径300メートル近くまで開く花火は迫力満点。栃木県名産のイチゴを象ったものなど豪華なラインナップが来場者を喜ばせた。
キッチンカーも出店し普段ゴルフ場を訪れることのない家族連れも多く来場。一夜のお祭り気分を満喫した。花火の時間は15分と決して長くはないが、およそ1000発がドドン、ドドーンと炸裂し、きらめきながら中空に消える様は格別。美しい夜空の祭典は来年も5月末に開催を予定している。



テラス席（バイク＆飲み放題付き）と駐車場席が販売され、打ち上がった花火の数は1000発。5月27日19時半～19時45分。少し早めの初夏の夢だった

鹿沼の風物詩に育てたい
来年はもっと多くの人に
見に来てもらいたい

福島範治

(鹿沼グループ社長)

